

# うるしの里づくり推進事業（岩手県二戸市）

## 事例の概要（事業名：うるしの里づくり推進事業）

当市は**国内最大の漆産地**であり、この漆は地域の**特色ある資源**でもある。  
このことから、当地域固有の漆を活用し、「浄法寺漆」「浄法寺塗」を核とした**産業振興**や**交流人口の拡大**を図り、**後継者確保、就労促進、魅力ある地域づくりの推進**などの課題解決を目指すものである。



## 事例の内容

事業主体：二戸市

事業内容：めっせうるしさま2011の開催（地域イベント）

漆掻き新規就業者支援（漆原木購入に対する助成）

漆塗り助成（地域内店舗等への利用促進）

漆サミット参加（全国への情報発信）

浄法寺塗のモニタリング（ニーズ把握と販路開拓）

漆原木の保育管理指導（優良な原木確保の推進）

総事業費：平成23年度 4.9百万円（うち過疎債 4.8百万円）



民家の前に設置された漆の木



地元食材を使った料理を浄法寺塗で提供

## 事業の効果

- ・新規就業者の経済的負担軽減により定住が促進された（県外から2名が定住）
- ・浄法寺漆、浄法寺塗の認知度が向上した（5店舗、H23からは「渋谷ヒカリエ」でも展開）
- ・市民の漆に対する理解度が向上した（イベント参加店舗77店舗、景品応募1,801通）
- ・漆の植栽本数が増加した（6,900本増加）

## ポイント

- ・原料から製品まで一貫した生産体制が構築できる地域である。
- ・安価な輸入品の増加や生産者の高齢化などにより需要が低迷している。

【解決すべき課題】

- ・産業として衰退、後継者の不足、地域資源としての認識不足

## 自立した地域産業の形成と 地域づくり資源としての活用促進

- ・従事者の高齢化が顕著であり、引き続き後継者確保に取り組む
- ・「食」との連携による販路開拓など販売チャネルの多様化を進める
- ・家庭への普及を進めるとともに地域づくりへの積極的な活用を進める